

家庭学習のてびき



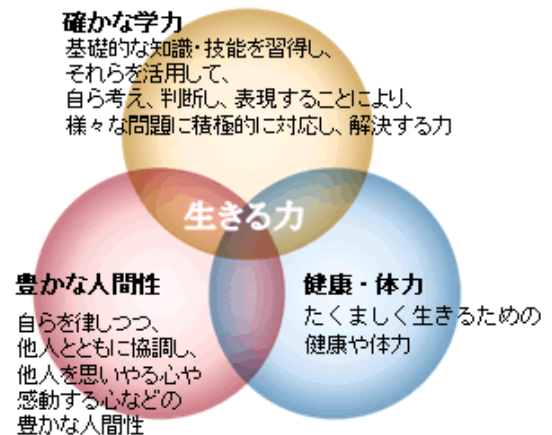
野崎西小学校

はじめに

教育の目的は人格の完成にあります。

子どもたちは将来大人になり、社会に出て、社会貢献をしなければなりません。

そのために「生きる力」を身に付けなければなりません。「生きる力」とは、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育てることです。



学校・家庭・地域で連携・協力のもとに育てていかなければなりません。

ご家庭ではその基本的な資質や能力培っていただければと考えています。

例えば、早寝、早起き、朝ごはんやテレビやゲームの時間やルールを決めることもその一つです。また家庭学習の定着も必要です。

子どもたちの学力や体力、健やかな体と家庭での基本的生活習慣はたいへん関係が深いものです。正しい生活習慣を身に付けることは子どもたちの将来においてとても大切なことです。

今回野崎西小学校では、「家庭学習のてびき」を作成しました。このてびきをお子様と話し合い、家庭学習の援助やアドバイスをしていただければと考えています。

かていがくしゅうのてびき（1・2ねんせい）

かていがくしゅう てじゅん

1 家庭学習の手順とポイント

☆テレビをけして、トイレもすませて集^{しゅうちゅう}中できるようにしましょう。

☆つくえの上はきれいにしておきましょう。

べんきょう じかん き
☆勉強する時間を決めましょう。

べんきょう
☆ただししいせいで勉強をしましょう。

ほんよ どくしょ まいにち
☆本読みや読書は毎日できるといいですね。

☆しゅくだいだけでなく、ふくしゅうもできるといいですね。

ねんせい べんきょうじ かん ぶん ぶん
☆1・2年生の勉強時間のめやすは20分～30分です。



2 勉強のしかた

☆ここごでは

①ここごのきょうかしよがすらすらよめることをめあてにしましょう。

②ゆっくり、はっきりよみましょう。

③なれてきたら、かいわぶん「 」にきをつけてよみましょう。

④ならったひらがな・かたかな・かんじがただしくかけるようにひつじゅんにきをつけてれんしゅうしましょう。

⑤ぶんしょうをかくときは、ていねいにかきましょう。

☆さんすうでは

①すうじはていねいにかきましょう。

②おわったらみなおしをしましょう。

③まちがえたもんだいはもういちどやりましょう。

☆どくしょでは

①まいにちすこしでも本をよみましょう。

②ほんをよんだら「きしゅう子まなびノート」のうちどくノートにかきましょう。

③おうちのひととよんだ本のはなしをしましょう。

☆べんきょうがおわったら

①べんきょうしたことをおうちのひとにみてもらいましょう。

②えんぴつをけずったり、じかんわりをあわせたり、あすのじゅんびをしましょう。

③わすれものをしないようにみなおしましょう。

家庭学習のでびき（3・4年生）

1 家庭学習の手順

- ☆テレビやゲームを消して机の上を整理しましょう。
- ☆毎日、時間を決めて勉強をしましょう。めやすは40分～50分です。
- ☆正しい姿勢^{しせい}で勉強しましょう。
- ☆宿題だけでなく、復習や予習もしましょう。
- ☆自主学習にも取り組みましょう。

2 勉強の仕方

☆国語では

- ①教科書の文や読んだ本の大切なことはノートにていねいに写しましょう。
- ②習った言葉を使って短文を作りましょう。
- ③分からない言葉があれば辞書で調べる習慣をつけましょう。
- ④新しく習った漢字はしっかり覚えましょう。
- ⑤読書をしっかりして、「うちどくノート」に記録しましょう。

☆算数では

- ①数字はていねいに書きましょう。
- ②まちがえた問題は、もう一度やり直しましょう。
- ③計算問題は速くできるように練習をしましょう。
- ④文章問題はよく読んで聞かれていることに答えましょう。
- ⑤三角定規（さんかくじょうぎ）・分度器・コンパスの使い方に慣れましょう。



3 復習や予習をしよう。

復習例

授業で学習した内容を家でもう一度確認します。ノートを見直したり、問題をもう一度解いたりします。新しく習った漢字は覚えているか確かめます。

予習例

次の日に習うところを読みます。どんな勉強をするのかを知ります。分からないことがあるのは当たり前です。どんな勉強をするのか知っておくと学習が分かりやすくなります。

※^{ふくしゅう}復習や^{よしゅう}予習をすることで自ら課題を見つけて勉強できる^{しゅうかん}習慣がつきます。

4 勉強が終わったら

- ☆勉強したことをお家の人に見てもらいましょう。
- ☆忘れ物がないように明日の準備をしましょう。

家庭学習のてびき（５・６年生）

1 家庭学習の手順

- ☆テレビやゲームを消して机の上を整理しましょう。
- ☆毎日、時間を決めて早めに勉強をしましょう。めやすは60分～70分です。
- ☆正しい姿勢で勉強しましょう。
- ☆宿題だけでなく、復習や予習もしましょう。
- ☆できるだけ多く自主学習にも取り組みましょう。

2 勉強の仕方

☆国語では

- ①教科書の文や読んだ本の大切なことはノートにていねいに写しましょう。
- ②習った言葉を使って短文を作りましょう。
- ③分からない言葉があれば辞書で調べる習慣をつけましょう。
- ④新しく習った漢字はしっかり覚えましょう。
- ⑤幅広い読書をして、「うちどくノート」に記録しましょう。（新聞や雑誌も）

☆算数では

- ①ノートの使い方を考え、ていねいに書きましょう。
- ②間違えた問題は、もう一度やり直しできるまで挑戦しましょう。
- ③計算問題は速くできるように練習をしましょう。
- ④応用問題にも挑戦しましょう。
- ⑤三角定規・分度器・コンパスの使い方に慣れるため家でも使いましょう。



3 復習や予習をしよう。

復習例

授業で学習した内容を家でもう一度確認します。自分で理解できることとできないことを分け、理解できていないことを中心に学習しましょう。それでも分からなければ学校で先生に教えてもらいましょう。

予習例

次の日に習うところを読みます。どんな勉強をするのかを知ります。分からないことがあるのは当たり前です。どんな勉強をするのか知っておくと学習が分かりやすくなります。

※復習や予習をすることで自ら課題を見つけて勉強できる習慣がつきます。

4 勉強が終わったら

- ☆勉強したことをお家の人に見てもらいましょう。
- ☆忘れ物がないように明日の準備をしましょう。

自主学習のすすめ

自主学習とは

☆先生から与えられた宿題だけでなく、自らすすんで興味のあることや苦手なことを勉強することです。自分で課題を作ることによって勉強する意欲も向上します。高学年になったらぜひ自主学習に取り組んでください。

自主学習の例

- ◇今日の学習をふりかえり、復習をする。
(ノートや教科書を読み返す・難しかったところをもう一度する)
 - ◇明日の学習の予習をする。
(教科書を読む・分からないことや漢字等を辞書や図鑑・参考書で調べる)
 - ◇くりかえし練習をする。(漢字やローマ字を覚える・計算ドリルや教科書の問題をする)
 - ◇新聞・地図・図鑑・好きな本などを読んだり、調べたり、まとめたりする。
 - ◇日記や生活ノートを書く。
 - ◇好きなテーマで作文を書く。
 - ◇「ことわざ」や「かんようく」を調べる。
 - ◇三角定規やコンパスや分度器を使っていろいろな図形をかく。
 - ◇植物や生物を観察したり、図鑑で調べたりする。
 - ◇ノートに勉強したことを自分なりにまとめる。
 - ◇日本各地や世界各地のことを調べる。
 - ◇新聞を読んで自分の感想をノートに書く。
 - ◇習った漢字で自分の苦手な漢字を覚えるまで練習する。
- ※自主勉強は自分で課題を見つけてすることにたいへん意義があります。
自分で何をどのように勉強すればいいのかを考える力はとても大切です。